



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (7/2 現在)
世帯数 2,289 総人口 6,289 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

ふれあい夏まつり初の中止に

台風接近で実行委、苦渋の決断

チケット払い戻し等事後処理速やかに



中止連絡に忙しい実行委員

当初の長期予報は晴れまたは曇りで、特に問題もなく開催の予定でした。数日前から台風12号の進路が気になり始めました。台風が接近し、しかもほぼ直撃コースだったので問い合わせもたくさんいただきました。

前日、まちづくり協議会の花澤会長をはじめ、関係各人が集まり、開催の可否を議論しつつ、並行してレンタルカーと模擬店什器類の受け取り、テントの運搬など準備を進めました。台風がくるとは思えない天気で開催へ一縷の望みを持っていました。

当日の朝6時、実行委員長らで判定会議を開き、中止を決定しました。来場者の安全と後片付け時の安全を考慮しての決断でした。

第21回志津南ふれあい夏まつり(同実行委員会主催)は7月28日に予定していましたが、台風接近のため中止となりました。「みんなとわらえる場所」かがやけるまち「志津南」をテーマに準備を進めてきました。

志津南ふれあい夏まつりは21回を数えますが、中止するのは今回が初めてです。過去には本会場近くのシャントモール(現グリーンプラザ)広場に移動して、雨を避けながらの開催が一回ありましたが、その他はすべて予定通り中央公園で開催してきました。今回の中止は大変残念です。

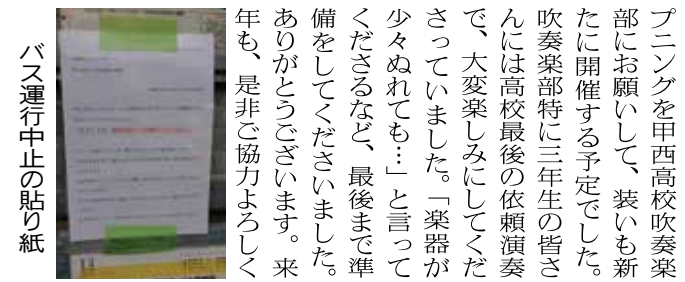
日持ちしない食材を調理



今回の決断には、昨年の実行委員会で検討して採用した実行中止保険と中止判定基準が大いに役立ちました。中止決定後はさらに、これまで未経験の作業が続きました。中止連絡、模擬店材料のキャンセル、チケット返金作業などどれも初めての事ばかりで、早朝から実行委員および協力員が分担して進めました。おにぎり、焼きそば、たこ焼き、フランクフルトなど日持ちしない食材は、各町内会を中心に当日参加の役員さんへ配布。特に焼きそばはボランティアの方々が集まり「アンサンクパワー」が調理し、実行委員会等にも振る舞われました。

チケットの返金は、各購入ルートで返金を行います。町内会を通じた購入は町内会から、保育園や各種団体を通じた購入は各種団体から、販売時と逆の手順で返金が進められています。

さて今回は、司会に新しく大鹿愛さんを迎え、オ



バス運行中止の貼り紙

お願ひいたします。他にも出演を予定の皆様、本当に申し訳ありません。

模擬店では、三丁目の新メニュー「おにぎりセツト」、ボランティア「アンサンクパワー」による「焼きそば」、いつも長蛇の列になる「かき氷」は現金売りを断念して待ち時間解消を目指すなど、準備をしていました。

また、無料送迎バスのダイヤを見直し、駐輪場の整備、会場パトロールなど、安全確保にも重点を置きました。

来場予定の「たび丸くん」は、このお祭りから装いを

第二次行動計画を策定

安心して住み続けられるまちへ

志津南学区まちづくり協議会理事会は、第二次行動計画「写真」を策定しました。

この行動計画は、まちづくり指標に基づき、人々が安心して住み続けることができるまちづくりを目指し、



地域住民主体で継続的に行動するための具体的な行動計画です。

- ① 住民による地域自治住民参加、住民主体の自立した自治のまち
- ② 地域福祉と健康 住民同士が助け合い健康でいきいきと楽しく暮らせるまち
- ③ 生活環境 緑に囲まれた

新たに予定だったと聞きます。「たび丸くん」に会えなかったのも残念です。

最後に、夏まつり開催に向けてご協力いただいた実行委員会、各町内会、各種団体、ボランティア・協力員の皆さんに改めてお礼申し上げます。パンフレット広告などにご協力いただいた協賛企業の皆さま、急な中止にもかかわらずご協力いただいた業者の皆さま、ありがとうございます。

来年第22回志津南ふれあい夏まつりで、皆様にお会いできることを楽しみにしています。

ゆとりのある住居環境を維持し、清潔で気持ちよく暮らせるまち

- ④ 防災・防犯・交通安全活動 明るく安全で、人に優しく、安心して暮らせるまち
- ⑤ 教育・文化 子どもを健やかに育み、学び合うまち
- ⑥ ふれあい活動 楽しい思い出の詰まった故郷づくり

今回のアンケートで「健康」「防犯・防災」「治安」などに強い関心が寄せられました。これらを具体的施策に落とし込み活動していきます。ご理解、ご協力をお願いいたします。

ゆつたりと華やかにハワイアン

やすらぎ学級第3回講座（公開講座）が、7月25日に志津南まちづくりセンターで開催され、学級生27人を含む、47人が参加しました。「ハワイアン音楽を楽しみましょう」と題し、アロハ・ウクレレの皆様をお招きしました。写真。

当日はタイトルにぴったりの気持ちの良い晴天で、職員も皆様をアロハの衣装と装飾でお迎えしました。

第一部、ウクレレ演奏の曲目は「カイマナヒラ」「クワリレファ」「南国の夜」「ケアロハ」。演奏後、フラダンスの体験講座、バンドに合わせて踊ってみましょ



演奏するアロハ・ウクレレ

包み、誰もが一度は耳にしたことのある、懐かしく馴染みの深い楽曲の数々を一緒に口ずさみました。

第三部、ウクレレとハーモニカのコーポ演奏、みんなで一緒に歌いましょう！「上を向いて歩こう」「街の灯り」「琵琶湖周航の歌」。

三部構成となる盛りだくさんのプログラムで、演奏終了後にはアンコールの声もあがり、第一部の体験講座



フラダンスをするメンバー

初の試み、夏休み映画鑑賞



かがやきの丘子ども会（村麻美会長）が8月1日、かがやきの丘自治会館きらりで映画鑑賞会を開催しました。例年行っている秋のイベントに代わるもので、「河童のクゥと夏休み」を上映しました。写真。

出欠の確認をしない自由参加型で実施しましたが、50人ほどの子どもたちが映画館での鑑賞のように、おやつと飲み物を手にやって

座で教わった「月の夜は」をもう一度踊りました。

今回は公開講座で一般の参加者も多く、いつもより人数も増えて、日頃から音楽が大好きな地域の皆様も、

空き家対策活動で「三方よし」

若草七丁目町内会（樋口修治会長）は7月26日、志津南緑化ボランティアの会（若草岡本西地区）の協力を得て、町内の荒れていた空き家の除草、剪定作業を実施しました。

若草の町ができて30余年。今や町は成熟し、落ち着いた景観は若草に住む者にとっては誇りでもあります。その反面、かがやき通りの交通渋滞や町全体の高齢化はこれまた仕方のない自然の流れでもあります。かがやき通りの樹木の剪定や公園等の雑草駆除が追い付か

ウクレレで奏でられる素敵なお声も聴きます。

町の景観維持のため一斉清掃の回数を増やし、環境美化ボランティアの方々の作業量を増やしていたとき、若草全体での対応で何とか凌いでいるのが現状です。

更に近年は各個人宅に高齢化による影響が出てきました。高齢で庭の手入れができないとか、空き家の庭木放置で景観悪化や害虫発生など、ご近所トラブルになる場合もあるようです。

現状を見かねた「志津南環境美化ボランティアの会（以下、会）」が7月からこ

れらの方を対象とした除草、剪定作業の新規事業を立ち上げたことは全戸回覧もあり周知のことと思います。

今回は、7丁目として、この取組みを利用して会に作業をお願いしました。

対象とする居宅は現状3年間の空き家で、玄関や道路面の生垣はもとより裏庭には3m以上の高木や雑草が繁茂していました。ご近所も迷惑されていました。ご近所迷惑への後ろめたさ（？）を感じなくて済む。

【世間よし】近隣住民にとって景観が良くなり、手入れされていることで防犯・防災対策にも寄与し、若草の価値がアップする。

今回の事業は、空き家だけでなく、高齢者の方々も利用されて、近隣の方々のふれあいを持つきっかけとなり、お互いが快適な環境づくりに協力し合える社会に貢献するものの一施策だと思ひ、今後の利用を期待します。

（樋口修治）

で、今回の取組みを説明したところ二つ返事で了解が得られました。

作業は記録的な猛暑の中でしたがテキパキとして終わり、プロ顔負けの仕上がりで見違えるほどスッキリしました。

近江商人の「三方よし」にならば、

【売り手よし】会の基本理念である「若草の町の景観を保ち町の価値を高める」手段として活動本来の価値観が享受できる。

【買い手よし】相場より安い費用で済むため利用し易くなり、頻度を増やすことで近所迷惑への後ろめたさ（？）を感じなくて済む。

雑草が繁茂する作業前



スッキリ整えられた作業後



「ウチの子自慢」は休みます



短冊に願いを込めて



たなばたまつり。今年も、あちこちで笹の葉に短冊をつるし、子ども達が小さな願い事を書きました。子ども達の願いがどうぞかないますように…。

子育てサークルが七夕会

子育てグループ「おやこクラブ」(山出聡子代表)がまっくろクラブ、ひよこクラブ、ちづくりセンターで、同じく「きりりん」(吉本萌恵代表)がかがやきの丘きらり会館で7月5日、それぞれ七夕会を開催。合わせて16組余の親子が楽しいひと時を過ごしました。



おやこまっくろクラブで笹飾り作成

当日の大雨警報を心配して、笹竹は前日のうちにスタップが準備して

きりりんでも七夕会



おきました。青々としてみずみずしい笹の葉の香りが漂う中、七夕会がスタート

トしました。各グループは、まず「あさのうた」や「おいでおいで」の体操から始め、あいさつの後、さっそく笹飾りに取りかかりました。子どもたちの手形や足形で作った飾り、輪飾り、またお星さまや可愛い願い事を書いた短冊を飾りました。

しく、また感心しました。こうしてお母さんも子どもたちも楽しく七夕会を過ごせたくなりました。

若草文庫でも楽しいひと時



ごしました。みんなが願いを託した短冊、かなえてあげたくまりました。

第三集会所に小学生や幼児15人余が集まり七夕会を開きました。みんなが思い思いの願い事を書いた短冊や、手作りの飾りを笹に結びつけて完成させ軒先に飾りました。また、みんなの大好きな大学生のお兄さんから本を読んでもらったり楽しいひと時を過ごしました。

お薬

よもやま話

<5>

液を目に垂らすと今で言う結膜炎などに効果があることが知られていました。

この近江黒田家の子孫の一部が後に備中(岡山県西部)の福岡という地に流れたので、官兵衛の祖父、重隆の代になって姫路へ移りました。

黒田の目薬

司馬遼太郎の小説「播磨灘物語」に戦国武将、黒田官兵衛の親元は目薬屋だったという話が出てきますが、作者である司馬さん自身も大阪の薬屋の次男として育ったそうです。

黒田家の本貫地(発祥の地)は近江国木之本黒田にあり、当時その辺りではメグスリノキの樹皮を煎じた



た。当時かなり困窮していた重隆は、その地で黒田家伝の目薬「玲珠膏」(れいしゅ

たのです。田職隆は城主に大いに信任されて小寺姓を賜った上、政職の養女を妻に迎え、黒田官兵衛の誕生につながったのです。(太田俊作)

このように小説の上では黒田家伝の目薬「玲珠膏」の大ヒットのお陰で黒田家は家運が上向いて有力武将の道を歩み、紆余曲折を経て、幸運にも明治維新に至るまで筑前藩五十万石の大

やく川現在の姫路市城主、小寺政職(まさもと)に仕官し、それを継いだ嫡男黒

は家運が上向いて有力武将の道を歩み、紆余曲折を経て、幸運にも明治維新に至るまで筑前藩五十万石の大

グルメサロンは牛筋カレー

追分南町内会「元氣くらぶ」(隅野義次代表)は7月6日追分南会館でグルメサロン(牛筋カレー)を開催しました。写真。



今回の牛筋カレーはボランティアの方が数日前から準備し、当日早朝から調理に取りかかり、カレーを煮込んでくれました。参加者29人が、12時から食卓につきました。それぞれのテーブルにカレー鍋が

置かれ、おいしい炊き立てのご飯にカレーを盛り、差し入れのポテトサラダと一緒ににみんでいただきました。差し入れのシソジュースもサッパリしたおいしさでカレーにピッタリでした。参加者一同、和気あいあいと和やかな一時を過ごしました。買い物や牛筋の下処理、ポテトサラダやシソジュース、野菜や米の提供、カレーの調理をしていただいたボランティアの方々に感謝です。

一日の始まりはラジオ体操から

志津南小学校PTA事業の夏休みラジオ体操が学区内の各公園で始まっています。中には道路が会場というところも。

交通安全に気を配る大人たちに見守られ通勤前の方、散歩の帰り、未就学児や高齢者の皆さん、そして子どもたち、世代を越えて集まっています。

清々しい朝の日



追分南向山の道路会場

差しの下で軽快なリズムに合わせかけ声をかけあいながらラジオ体操で一日の始まりです。

体操が終わるとさっさと帰途につく子ども、サッカーボールを蹴って遊ぶ子ども、樹木の葉陰で鳴いているセミを見つけたり、抜けばを集めたり元気な声が飛び交っています。



若草中央公園会場



かがやきの丘南公園

理由でお急ぎの場合、まちづくりセンター事務所に申し出ていただければ、可能な限り日を相談させていただきます。

もちろん、すべての質問に答えられるわけではありませんが、当学区内のパソコン活用能力を高めるの一助になればと考えています。

今後も定期的に開催していきますので、お困りの折には活用ください。

次の開催は

▽8月23日(木)・9月21日(金) 13時〜16時

▽志津南まちづくりセンターサロン

ごみ袋引換券 9月30日まで

現在お持ちのごみ袋引換券は9月末で無効になります。

10月1日からは新しい引換券に替わりまします。まだ引換券をお持ちの方は9月30日までに引き換えてください。

- 資源回収**
- 毎月第1・3日曜日
 - ★若草1〜5丁目町内会
 - 毎月第2・4日曜日
 - ★若草6〜8丁目町内会
 - 岡本町西町内会
 - 毎月第2・4土曜日
 - ★かがやきの丘町内会
 - 毎月第1・3土曜日
 - ★フォレストローズ子供会
 - 毎月第2日曜日
 - ★向山子供会
- ※回収品は古新聞・古雑誌・段ボール・古着

「パソコンの駅」相談に76人



志津南まちづくりセンターでは、昨年4月からほぼ月に1回のペースで、パソコンの相談日を設けて来ましたが、延べ76人の利用がありました。



「道の駅」や「赤ちゃん」の駅」になぞらえて「パソコンの駅」と名付けたこの試みは、ワードやエクセルなどの汎用ソフトを使う際のトラブルに対処しようとするものです。特に地域役員などに当たると、パソコンを使う場面が増える事があります。各家庭にパソコンが普及したとはいえ、誰もがパソコンを使うわけではありませぬ。そういう時に、気軽に相談できる場所、または代わって対処してくれる場所があればとの思いからスタートしています。

相談料は30分で500円と定めてはいますが、志津南学区内の役員の相談に関しては無料です。当初、予約制はかえって敷居が高くなりそう、午後1時から4時と定めた開催時間内に随時お越しただいていたのですが、希望者が少しずつ増えてきたことから、事前に30分刻みで来館時間を予約できるようにしました。無駄な待ち時間を解消する目的は、今のところ目論見どおりに。

利用者内訳は、昨年度1年間で53人、今年度4か月間で23人。学区内の人が53人に対し、学区外からも23

人が来館しています。また全体の相談のうち、ほぼ半数の37人が役員の仕事の相談でした。相談内容は、町内に回覧する文書やポスター、会議の議事録、市に提出する文書などを作成して欲しいという依頼や、写真の加工方法、エクセルのワークシートでのトラブル、USBメモリの使い方、差し込み印刷など多岐にわたっています。

1か月に1回、曜日などをずらしながら日を定め、志津南NEWSやホームページ、町内回覧などで告知しています。急な相談や提出日が迫っているなどの

折々の記



私達は、高齢者が健康長寿と、いきいきと生活し続ける地域づくりを目的に、「草津市長寿いきがい課」が勧めている「いきいき百歳体操」を行っています。

草津市内では、約1200団体、2570人が参加しています。

「志津南いきいきクラブ」は、毎月4回(木曜日)、91才を筆頭に、平均年齢80才、

最近、「老女中」より一筆頂きました。

「若草に転居して、30年あまり、あつという間でした。その間病気療養など色々ありましたが、地域の人々に支えられ今日に至りました。高齢者が、暮らし易い環境

平成の大奥

毎回約30人あまりが元気に参加しています。

その内、男性の参加が非常に少なく、周りは殆んど女性ばかり、筆頭年寄り、松島や瀧山級がずらり。

私はこれを平成の「大奥」と呼んでいます。

に恵まれ、毎日が楽しく、やすらぎ学級、グラウンドゴルフ、中でも70歳からでも鍛えられる「いきいき百歳体操」其の後は行はれる茶話会など日々忙しく楽しい毎日です。これからも、百歳を目指して、頑張っ続けていきたいと思えます。」

当クラブは、平成28年度草津市「いきいき百歳体操」交流会に於いて、草津市長より「永年継続表彰」をいただきました。

これからも、これを励みに百歳を目指して、頑張ります。

(素老人)